

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 カネミツ
 コード番号 7208 URL <http://www.kanemitsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金光 之夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部本部長 (氏名) 金光 秀治
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 大

TEL 078-911-6645

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,646	—	76	—	71	—	57	—
20年3月期第1四半期	1,567	1.9	119	△42.5	136	△34.7	66	△51.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	11.42	11.34
20年3月期第1四半期	13.20	13.11

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	8,655	5,416	5,416	61.7	1,055.51	
20年3月期	8,718	5,516	5,516	62.3	1,073.49	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 5,343百万円 20年3月期 5,434百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,300	—	240	—	240	—	140	—	27.65
通期	7,050	3.9	650	△5.4	640	1.6	420	75.0	82.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	5,068,108株	20年3月期	5,068,108株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	5,660株	20年3月期	5,660株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	5,062,448株	20年3月期第1四半期	5,062,448株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月14日発表の連結業績予想を修正していません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、原油・原材料価格高騰の影響を受け、企業の設備投資は弱含みとなり、個人消費についても概ね横這いで推移した結果、景気は減速感を強める展開となりました。

このような状況のもと、当社グループの売上高は1,646百万円（対前年同期79百万円の5.1%増加）となりました。利益面では、主たる材料である鋼材の価格上昇に伴いまして、当第1四半期への影響額を合理的に見積り、その相当分を売上原価に計上した結果、営業利益76百万円（対前年同期42百万円の35.8%減少）、経常利益71百万円（対前年同期65百万円の47.7%減少）、四半期純利益57百万円（対前年同期9百万円の13.5%減少）となりました。

所在地別の状況につきましては、日本は好調な輸出に支えられ自動車生産台数が堅調に推移した結果、売上高は1,411百万円（対前年同期53百万円の3.9%増加）となりましたが、材料費の増加相当額を先行して費用計上したため、営業利益は46百万円（対前年同期46百万円の49.9%減少）となりました。

アジアにつきましては、自動車への需要拡大が続いておりタイの海外子会社カネミツプーリーが順調に売上を伸ばした結果、売上高は282百万円（対前年同期39百万円の16.1%増加）となりましたが、操業を開始した中国の子会社佛山金光汽车零部件有限公司はまだ費用が先行しており、営業利益は30百万円（対前年同期4百万円の17.3%増加）にとどまりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は8,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円の減少となりました。

流動資産は29百万円減少しましたが、主として受取手形及び売掛金の減少34百万円、たな卸資産の減少22百万円等によるものであります。固定資産は33百万円減少しましたが、主として建物及び構築物の減少94百万円、投資有価証券の増加77百万円等によるものであります。

負債は3,238百万円となり、37百万円増加しました。流動負債は117百万円の増加となりましたが、主として支払手形及び買掛金の増加56百万円、未払法人税等の減少81百万円、賞与引当金の減少65百万円等によるものであります。固定負債は80百万円減少しましたが、主として長期借入金の減少54百万円等によるものであります。

純資産は5,416百万円となり、100百万円減少しましたが、主として評価・換算差額等の減少110百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.7%と前連結会計年度末に比べ0.6%低下しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は959百万円と、前連結会計年度末と比べ40百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は150百万円（対前年同期増減率 Δ 1.7%）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が82百万円（対前年同期増減率 Δ 39.2%）、減価償却費92百万円（対前年同期増減率 $+58.9\%$ ）、仕入債務の増加額が77百万円（対前年同期増減率 $+571.8\%$ ）及び法人税等の支払額117百万円（対前年同期増減率 $+1.1\%$ ）となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は116百万円（対前年同期増減率 Δ 55.1%）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が117百万円（対前年同期増減率 Δ 55.7%）、有形固定資産の売却による収入が17百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は55百万円（前年同期は43百万円の収入）となりました。これは主に配当金の支払額37百万円（対前年同期増減率 Δ 11.7%）、長期借入金の返済による支出30百万円（対前年同期増減率 $+50.0\%$ ）となったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の売上高は、当初計画をわずかながら上回りましたが、第2四半期につきましても、当初計画を若干上回って推移する見通しであります。

一方、利益面では、鋼材の価格上昇に対して合理的に見積ったコスト増加額を、当第1四半期から費用計上しておりますが、販売単価につきましても、その上昇の時期と金額に沿った内容で改訂をすすめております。

従いまして、現段階では第2四半期累計期間及び通期共に、平成20年5月14日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響も軽微であります。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より、機械装置の耐用年数を12年から9年に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ5百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	959,976	1,000,551
受取手形及び売掛金	1,756,888	1,791,536
製品	19,646	17,031
原材料	83,650	89,166
仕掛品	391,408	410,184
繰延税金資産	94,258	70,317
その他	97,681	54,035
流動資産合計	3,403,510	3,432,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,830,799	1,934,524
減価償却累計額	△841,643	△851,101
建物及び構築物（純額）	989,155	1,083,422
機械装置及び運搬具	4,605,197	4,564,153
減価償却累計額	△3,359,533	△3,333,555
機械装置及び運搬具（純額）	1,245,663	1,230,598
工具、器具及び備品	467,425	500,180
減価償却累計額	△361,391	△368,860
工具、器具及び備品（純額）	106,034	131,319
土地	1,899,828	1,917,399
建設仮勘定	259,406	215,472
有形固定資産合計	4,500,087	4,578,212
無形固定資産	82,776	90,344
投資その他の資産		
投資有価証券	394,565	316,787
繰延税金資産	91,507	126,889
その他	182,701	173,170
投資その他の資産合計	668,774	616,846
固定資産合計	5,251,639	5,285,403
資産合計	8,655,149	8,718,226

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	841,651	785,578
短期借入金	182,272	185,134
未払法人税等	38,000	119,336
賞与引当金	66,552	132,012
役員賞与引当金	9,000	—
1年内償還予定の社債	190,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	134,693	120,240
その他	663,634	475,717
流動負債合計	2,125,803	2,008,019
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	404,486	458,590
退職給付引当金	144,898	142,137
長期未払金	308,809	325,777
その他	54,553	66,987
固定負債合計	1,112,747	1,193,491
負債合計	3,238,551	3,201,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,599	543,599
資本剰余金	437,629	437,629
利益剰余金	4,252,665	4,232,795
自己株式	△6,393	△6,393
株主資本合計	5,227,501	5,207,631
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94,767	50,578
為替換算調整勘定	21,202	176,293
評価・換算差額等合計	115,970	226,871
新株予約権	90	90
少数株主持分	73,036	82,121
純資産合計	5,416,598	5,516,715
負債純資産合計	8,655,149	8,718,226

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,646,878
売上原価	1,277,285
売上総利益	369,593
販売費及び一般管理費	292,970
営業利益	76,622
営業外収益	
受取利息	556
受取配当金	3,140
その他	383
営業外収益合計	4,080
営業外費用	
支払利息	8,551
為替差損	718
営業外費用合計	9,270
経常利益	71,431
特別利益	
固定資産売却益	11,381
特別利益合計	11,381
特別損失	
固定資産除却損	46
特別損失合計	46
税金等調整前四半期純利益	82,767
法人税、住民税及び事業税	35,734
法人税等調整額	△18,763
法人税等合計	16,971
少数株主利益	7,957
四半期純利益	57,837

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	82,767
減価償却費	92,967
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△65,460
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,760
受取利息及び受取配当金	△3,697
支払利息	8,551
為替差損益 (△は益)	453
固定資産売却損益 (△は益)	△11,381
固定資産除却損	46
売上債権の増減額 (△は増加)	9,444
たな卸資産の増減額 (△は増加)	83
仕入債務の増減額 (△は減少)	77,740
その他	67,780
小計	271,057
利息及び配当金の受取額	3,686
利息の支払額	△7,192
法人税等の支払額	△117,071
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△117,338
有形固定資産の売却による収入	17,157
無形固定資産の取得による支出	△840
投資有価証券の取得による支出	△3,384
長期性預金の預入による支出	△15,000
その他	2,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,912
長期借入金の返済による支出	△30,060
配当金の支払額	△37,995
少数株主への配当金の支払額	△2,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,575
現金及び現金同等物の期首残高	1,000,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	959,976

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

当社及び連結子会社の事業はプーリ等の製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,372,369	274,509	1,646,878	—	1,646,878
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,199	7,783	46,982	△46,982	—
計	1,411,568	282,292	1,693,861	△46,982	1,646,878
営業費用	1,365,116	251,464	1,616,581	△46,325	1,570,256
営業利益	46,451	30,828	77,279	△657	76,622

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・タイ、中国

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（11,205千円）の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

4. 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 (3) (追加情報) に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を12年から9年に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べ、当第1四半期連結会計期間の「日本」の営業費用は5,756千円増加し、営業利益は同額減少しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

	アジア	計
I 海外売上高（千円）	274,509	274,509
II 連結売上高（千円）	—	1,646,878
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.7	16.7

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・タイ、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,567,425
II 売上原価	1,198,583
売上総利益	368,841
III 販売費及び一般管理費	249,495
営業利益	119,346
IV 営業外収益	21,751
V 営業外費用	4,553
経常利益	136,544
VI 特別利益	35
VII 特別損失	476
税金等調整前四半期純利益	136,103
税金費用	64,904
少数株主利益	4,351
四半期純利益	66,847

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	136,103
減価償却費	58,517
賞与引当金の増加額	63,660
役員賞与引当金の増加額	9,000
退職給付引当金の減少額	△3,348
受取利息及び受取配当金	△3,833
支払利息	4,553
為替差損益	△5,574
固定資産売却損	442
固定資産売却益	△35
固定資産除却損	34
売上債権の増加額	△13,319
たな卸資産の減少額	5,644
仕入債務の増加額	11,571
その他	5,315
小計	268,732
利息及び配当金の受取額	3,803
利息の支払額	△3,638
法人税等の支払額	△115,802
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,095
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△264,941
有形固定資産の売却による収入	35
無形固定資産の取得による支出	△280
投資有価証券の取得による支出	△3,132
長期性預金の預入による支出	△15,000
その他	23,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,797
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	106,820
長期借入金の返済による支出	△20,040
配当金の支払額	△43,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,766
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	5,995
V 現金及び現金同等物の減少額	△56,939
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,033,872
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	976,932

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

当社及び連結子会社の事業はプーリ等の製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,331,899	235,526	1,567,425	—	1,567,425
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,358	7,578	33,937	△33,937	—
計	1,358,258	243,105	1,601,363	△33,937	1,567,425
営業費用	1,265,567	216,823	1,482,390	△34,310	1,448,079
営業利益	92,690	26,282	118,973	373	119,346

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア・・・タイ、中国

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（10,342千円）の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。